

堺市障害者自立支援協議会
これまでの「相談支援のあり方等に関する検討」の取組み

～平成20年度～

【取組み状況】

市協議会	平成20年11月28日	<p>【相談支援のあり方等に関する検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場はどうかを分析しないといけない。率直な意見交換をする場も必要と考えている。 ・質を問われたときに「よくやっている」と言える下地作りをしていきたい。 ・現場のしんどさを率直に出せる場が必要ではないか。 ・一度、相談支援者の意見を聞く場を持つことを検討。
	平成21年2月27日	<p>【「相談支援のあり方検討チーム」設置の提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会として、厚生労働省「障害者自立支援調査研究プロジェクト」へ申請したい。 ・取組みを通して、相談支援の評価だけでなく、地域全体の課題が出せる機会にしたい。 ・委託相談支援事業者、区役所、保健センターなどの相談体制は整っているが、役割が明確になっていない。利用者評価は全機関にやっていくのが望ましい。補助事業が採択されなければできない範囲は限られるが、行政の窓口などの組織体制についての検討材料にできれば。

～平成21年度～

【取組み状況】

プロジェクトチーム	<p>相談支援のあり方検討 チーム 平成21年5月～ 平成22年2月迄 (計10回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援機関の「評価」に関する検討。結果、いろいろな意見があり、再検討となった。(評価自体は未実施) ・当事者に対して、相談支援についてのアンケートを実施。 ・健康福祉プラザ総合相談情報センターの検討が急務となり、検討チームが役割を担った。市内の相談支援体制のあり方もふまえて、議論を行うこととなった。 ・長野県の総合相談支援センターの視察。 ・市内の相談支援体制のあり方等に関する検討 <p>【相談支援に関する課題認識】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①指定相談支援事業者が少ない ②生活支援センター…3障害に分かれている。相談内容が複雑化。相談件数増。場所が偏在 ③区役所の窓口…身体・知的と精神に分かれている。身体・知的の専門職がない ④更生相談所などの専門機関と生活支援センターや区役所の連携が不十分 <p>→・3障害ワンストップへ再編、専門機関とも連携強化の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後に障害者自立支援法改正と相まって、堺市の相談支援体制再編に大きな影響
市協議会	平成22年 2月26日	<p>【相談支援のあり方検討チーム】の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談情報センター検討会報告書提出。(※(仮称)健康福祉プラザ 総合相談情報センター検討資料 一概要版一 参照)

～平成22年度～

【取組み状況】

協議会関係者による 情報交換会	平成22年12月17日	・相談支援のあり方に関するグループディスカッション等
--------------------	-------------	----------------------------

～平成24年度～

平成24年4月1日

・総合相談情報センター及び各区障害者基幹相談支援センターの設置

～平成25年度～

【取組み状況】

地域生活支援部会	平成25年 6月21日 平成25年10月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・指定相談支援について ・指定相談支援の課題に関する検討経過とまとめの作成
----------	----------------------------	--